

行動を促す会話における待遇表現行為の研究  
—相互行為的会話教育の基礎理論—

目次

第1章 序論

1. 1	研究の目的	1
1. 2	研究の意義	2
1. 3	本研究の位置づけ	2
1. 3. 1	「会話」の先行研究	
1. 3. 2	日本語の会話における敬語・待遇表現の先行研究	

第2章 本論

2. 1	問題提起	16
2. 1. 1	会話教育の問題点	
2. 1. 2	「会話表現」への考え方の提起	
2. 1. 3	理論的枠組みへの提起	
2. 2	本研究の諸概念	21
2. 2. 1	「コミュニケーション」＝「待遇コミュニケーション」	
2. 2. 2	「会話」＝「相互行為」	
2. 2. 3	「会話」と「独話」	
2. 2. 4	「表現行為」と「表現形式」	
2. 2. 5	「待遇表現行為」	
2. 2. 6	「主体」＝会話における「働きかけ主体・行動主体」	
2. 2. 7	「行動を促す会話」	
2. 2. 8	「当然性」	
2. 2. 9	会話における「調整」	

2. 2. 1 0	「会話展開」＝会話参加者相互の「調整」過程	
2. 2. 1 1	「行動前提」	
2. 2. 1 2	「行動条件」	
2. 2. 1 3	「場」・「人間関係」	
2. 2. 1 4	「隣接ペア」	
<b>2. 3</b>	<b>仮説</b> .....	<b>28</b>
2. 3. 1	会話の成立要素の仮説	
2. 3. 2	会話における「待遇」の仮説	
2. 3. 3	行動を促す会話における「待遇表現行為」の仮説	
2. 3. 4	「待遇表現行為」の選択	
2. 3. 5	会話展開の仮説	
<b>2. 4</b>	<b>分析方法</b> .....	<b>41</b>
<b>2. 5</b>	<b>分析の観点</b> .....	<b>43</b>
<b>2. 6</b>	<b>資料の説明</b> .....	<b>43</b>
2. 6. 1	調査対象者	
2. 6. 2	はたらきかける会話であることの認定	
2. 6. 3	場面・状況	
2. 6. 4	調査の手順	
2. 6. 5	会話資料の文字化の方法	
2. 6. 6	母語話者の会話資料の内容一覧	
2. 6. 7	分析の記述の説明	
<b>2. 7</b>	<b>母語話者同士による行動を促す電話の分析</b> .....	<b>50</b>
2. 7. 1	会話資料1の分析	
2. 7. 2	会話資料2の分析	
2. 7. 3	会話資料3の分析	
2. 7. 4	会話資料4の分析	
2. 7. 5	会話資料5の分析	
2. 7. 6	会話資料6の分析	
2. 7. 7	会話資料7の分析	
2. 7. 8	会話資料8の分析	

2. 7. 9	会話資料9の分析	
2. 7. 10	会話資料10の分析	
2. 7. 11	会話資料11の分析	
2. 7. 12	会話資料12の分析	
2. 7. 13	会話資料13の分析	
2. 7. 14	会話資料14の分析	
2. 7. 15	会話資料15の分析	
2. 7. 16	会話資料16の分析	
2. 7. 17	会話資料17の分析	
2. 7. 18	会話資料18の分析	
2. 7. 19	会話資料19の分析	
2. 7. 20	会話資料20の分析	
<b>2. 8</b>	<b>考察</b>	<b>218</b>
2. 8. 1	「待遇表現行為」の考察	
2. 8. 2	「会話展開」の考察	
<b>2. 9</b>	<b>第2章の結論</b>	<b>355</b>
2. 9. 1	会話が成立するための「表現行為」の要素	
2. 9. 2	「働きかける表現行為」の選択条件について	
2. 9. 3	「当然性」の高低の合意が決める会話展開について	

### 第3章 相互行為的会話教育の理論と実践

<b>3. 1</b>	<b>基底となる会話理論</b>	<b>379</b>
<b>3. 2</b>	<b>相互行為的会話理論における会話教育の考え方</b>	<b>379</b>
3. 2. 1	会話習得の考え方	
3. 2. 2	会話学習の考え方	
3. 2. 3	会話学習の目的の考え方	
<b>3. 3</b>	<b>日本語の会話教育に関する先行研究</b>	<b>380</b>
3. 3. 1	コミュニカティブ・アプローチ	
3. 3. 2	日本語教育において会話教育はどのように実践されてきたか	

3. 3. 3	待遇に関わる学習における「文化的背景」のわかりにくさ	
3. 4	会話教育の問題点	387
3. 5	「会話表現」への考え方の提起	389
3. 6	「会話表現」の選択に関する先行研究	389
3. 7	会話教育における「会話環境」の取り扱いについて	391
3. 8	会話教育の考察	395
3. 8. 1	「表現行為」の捉え方について	
3. 8. 2	会話練習の作り方について：行動を促すことを意図する場合	
3. 8. 3	「教室空間」の構造化について	
3. 8. 4	教師の役割と学習者の位置づけ	
3. 8. 5	教材について	
3. 8. 6	添削・評価について	
3. 9	相互行為的会話教育の活動の開発	409
3. 9. 1	会話の授業実践例	
3. 9. 2	主な活動	
3. 9. 3	添削例	
3. 10	第3章の結論	430

## 第4章 結論

4. 1	相互行為としての会話における「待遇表現行為」について	432
4. 2	相互行為的会話教育について	436

## 第5章 今後の課題

5. 1	表現行為研究の継続と発展	438
5. 2	相互行為的会話教育の実践研究の継続	438

参考文献		440
------	--	-----

資料集

<b>【資料 1】</b>	電話における母語話者による行動を促す会話 . . . . .	<b>1</b>
<b>【資料 2】</b>	分析結果：各「調整箇所」の「待遇表現行為」の例 . . . . .	<b>53</b>
<b>【資料 3】</b>	分析結果：各「調整箇所」に見られた「待遇表現行為」（例文なし） . . . . .	<b>114</b>
<b>【資料 4】</b>	分析結果：行動を促す会話における「待遇表現行為」一覧 . . . . .	<b>130</b>

**研究業績一覧**